

川村中高図書館



おすすめ図書

(QRコードから出張貸出も利用できます)



11月位の晩秋から初冬にかけての穏やかでまるで春のように暖かい晴天の日のことを「小春日和」と言います。このように四季があり心地よい季節を感じられる日本の気候は素敵ですよ。今年のノーベル物理学賞は気候変動の研究が認められ、真鍋淑郎さんが受賞しました。温暖化が進むと心地よい季節は無くなり、四季は二季になってしまうのだそうです。真鍋さんの研究が無駄にならないよう、温暖化が進まないように私たちもできることから行動していきたいものですね。今回は題名が「気候」や「天気」を連想する本を紹介します。

小説 天気の子

新海 誠 KADOKAWA (913/3)

祈れば空を晴れにすることができる能力を持っている陽菜。でも、この力を使ううちに身体に異常が起こり始めて…。みなさんは「世界が好きなのか、どちらかを選んで」と問われたら、どちらを選びますか？



雲を紡ぐ

伊吹 有喜 文藝春秋 (913/1)

こちらの題名にでてくる「雲」とは「羊毛」のこと。羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「ホームスパン」をめぐる物語です。家族の絡まった「糸」が段々とほどけていく過程にほっとし、温かくしみじみと良さを感じる物語です。



こちらもおすすめ

地球温暖化を解決したい

小西 雅子 岩波書店 (519/3)



難しいテーマですが、わかりやすい語り口で、客観的に解説されています。地球温暖化を防ぐ為に、まずは何が必要でどんな対策が必要なのか。そのために自分たちはどんな行動をしていけば良いのか…。きっと理解できますよ。

新しい本が続々と

たくさんの新しい本が入ってきました。続々と棚に並んでいますよ。

何を读もうか悩んだら、まずは中高図書館のカウンターに来てくださいね。

来館をお待ちしています。

